

人・もの・夢に出会える創造マガジン

# うちこちのこづち



## CONTENTS

21世紀アングル/パワー・オブ・メッセージ

- 作家 幸田真音 ————— 2.3
- プラザ事業紹介「コミュニティ・ビジネスのすすめ」 ————— 4
  - 滋賀県元気企業紹介 ————— 5
  - オンリーワンをめざせ！レポート ————— 6.7
  - トピックス ————— 8
  - skki企業優良製品紹介/スマイル ————— 9
  - セミナー&イベント情報 ————— 10
  - 新着ビデオ・本紹介 ————— 11
  - skki登録・わが社のホームページ自慢 ————— 12

2004

Vol. 31

発行/(財)滋賀県産業支援プラザ



日本経済の低迷期こそ、次代を担うベンチャーの誕生や育成が望めます。自分たちの力を信じてほしいですね。

作家 ● 幸田真音

滋賀県出身の経済小説家、幸田真音さんは、米国系銀行や証券会社でディーラーや外国債券セールスのキャリアがあり、ご自身もベンチャー・ビジネスを立ち上げた経験をお持ちと云います。社会経済の中心で活躍し、様々な経験を持つ幸田さんに、ベンチャー・ビジネスに挑む人へ、熱いメッセージを伺いました。

近江商人はシステムティックな発想と素晴らしい企業哲学を持つ世界に誇れるビジネスマンです。

日本経済の低迷が長引き、いまこの国にはさまざまな問題が噴出しています。そのひとつに危機的な財政の逼迫がありますが、その穴埋めとして毎年膨大な国債発行に依存しているのが現状です。国債は、将来の税収を担保にした国の借金ですから、その将来の税収を担う新しい人材や、新しい企業、新しい産業群といったものをいまから育てていくことがなにより必要になってきます。

だからこそ、次代の日本を背負ってくれるような力強いベンチャー・ビジネスが育ってほしい。そんな願いから、私の初めての歴史小説『藍色のベンチャー』（新潮社刊）は生まれました。

そのなかに、ぜひ近江商人も登場させたいと、いろいろ調べていくうちに、彼らがどんなに素晴らしいビジネスマンであったかということが、あらためてわかってきました。

若いころ、出身地を聞かれて「滋賀県です」というと、「近江商人の発祥の地だね」とよく言われました。ただ、それは必ずしもいいイメージではなかったのです。近江商人と

●プロフィール/1951年滋賀県生まれ。米国系銀行や証券会社でディーラーや外国債券セールスを経て、1995年『ザ・ヘッジ 回避』（文庫版『小説ヘッジファンド』）で作家デビュー。国際金融の世界を舞台に、時代を先取りするテーマで次々と作品を発表し話題になる。『日本国債』『凜冽の宙（そら）』ほか著書多数。最近著は、年金問題をテーマにした『代行返上』（小学館刊）。

『藍色のベンチャー』  
(2003年10月/新潮社発行)

2002年7月から2003年7月まで京都新聞、中部経済新聞に連載。幕末期のベンチャー・ビジネスがテーマ。幕末の激動の時期を生きた近江商人網屋半兵衛が幻の名窯「湖東焼」をめぐる、彦根藩主井伊直弼を巻き込む。高い醜態、職人の誇り、官と民の戦い、そして夫婦の情愛を丹念に描いた著者初の経済歴史小説。



いうと、強欲なイメージで捉えているひともいるようでした。しかし、彼らには、ビジネスを通じた社会貢献というしっかりとした企業哲学があります。「三方よし」の理念がその代表的なものです。「飢饉普請」なども、まさに私財を投じた慈善事業としての、いまでいう雇用促進や公共事業です。

## ベンチャーが直面する苦労は 幕末時代もいまも共通するものが あったように思います。

『藍色のベンチャー』は、幕末時代に彦根藩に実在した、網屋半兵衛という一人の人間の物語です。古着呉服商としてすでに成功していた「網屋」の後継者でしたが、古着の買い付けで京に通ううちに、当時の先端産業であった磁器と出会い、自分でも彦根に窯を起こそうと考えます。

時代は違っても、まさにベンチャーそのものです。新規事業を始めるまでに、「乗合商い」といった、出資者を募って資金調達を試みる様子。窯を築いたものの、すでに有田や瀬戸といった巨大ブランドに占められていた市場への新規参入の苦労するところなど、執筆の過程で資料を調べるうちに、私自身、現代のベンチャー・ビジネスの苦労を見る思いがしました。さらには、販路開拓に苦勞し、経営難におちいり、藩から資金を借り受けることになります。その結果、やがては藩の基幹産業となるべく藩に召上げられる、つまり民窯から藩窯へと移管させられることになるのです。

まるで、公的資金の投入を受け国営化されたどこの銀行のようですが、ベンチャーなるがゆえの苦悩は、昔もいまも変わらないものがあるのだと、私自身の経験も踏まえてしみじみと思いました。

## ベンチャーというのは発想力。 それをどうやって ビジネスに結びつけていくかなんです。

私は経済小説を中心に執筆していますが、デビューした頃は、経済小説というちょっと特異な分野に見られがちでした。ただ、そう言われれば言われるほど「やってやろうじゃない」と思ってしまう。自分が苦勞するのは分かっていますが、チャレンジしたいという因果な性格なのです。ベンチャー・ビジネスを起こす人にも共通していると思うのですが、ベンチャーというのは、一番前を行かなければい

けない。今までに誰もやっていないことをやっていくというチャレンジャーの精神が必要で、大きな企業を持続させるのとはまた別の苦勞があります。日本人がなかなかベンチャー・ビジネスに溶け込みにくいのは、日本の教育がその芽を摘んでしまうような環境になってしまっているからかもしれません。教育とは、人と同じではないこと、人と違うことをする、個人の創造性を尊重し、それを伸ばすようなものであってほしいですね。そうでなければベンチャー精神は育ちません。結局ベンチャーというのは発想力だと思います。そして、それをどうやってビジネスに結びつけていくかなのです。何かを発想するという力は、日本人にも絶対あるはずなのに、企業の中ではそれを活かされていません。例えば人の採用においても、入社試験の成績がよくて、上司が使いやすい人ばかりの採用では、似たようなカラーの人間ばかりが集まってしまい、企業の獨創性は望めません。むしろ、跳ねっ返りだったり、とんでもなく扱いにくそうだけど何か魅力のある人材を敢えて雇うくらいの度量が、企業経営者には必要だと思います。

## ベンチャー企業だけで終わらないで 次代を担う産業にまで育ててほしい。 そのために社会の支援も不可欠です。

社会環境を批判する前に、まず個人が発想力を持たないといけない。それが一番です。自分の力を信じて、果敢にベンチャー・ビジネスに挑戦する人がもっと増えてほしいですね。その人が行動を起こしたところで社会がサポートする。この二段階だと思います。多くの人が人と同じことをやって企業の中で甘んじている。そのくせ何かあったら社会が悪い、政治家が悪い、官僚が悪いと言っている。みんな口ばかり動いていて、足は動いていない。ベンチャーで大事なことは「自立」だと思うのですよね。ビジネスをするにはコストがかかる。そのコストは全部自分で調達するぐらいの気概が大事だと思います。自分の足で立つという精神がベンチャーの基本でしょうか。そのうえで、国や社会がそうしたベンチャー企業の成長を支援していく。

企業の一生は植物の命と同じで、芽から双葉へ、そして本葉に育っていく時、そこから幹に育っていく時、枝葉が広がっていく時と、いろんな時期を経ていくのですが、それぞれの時期で、それぞれ違った戦略が必要になってきます。近江商人のように確固たる理念をもって、自分たちの力を信じてほしいですね。自分を信じると、そこからおのずと生まれるものが絶対あるはず。 (談)

## コミュニティ・ビジネスのすすめ

### 『滋賀県コミュニティビジネス 平成15年度 モデル事業発表会』について

昨今、地域社会への貢献、地域課題の解決や地域資源などの活用といった新しい起業スタイル、働き方として『コミュニティ・ビジネス』（※1）が注目されています。産業支援プラザでは、そういった元気な地域づくりや新しい仕事づくりにつながるコミュニティ・ビジネスの立ち上げを応援しています。

今年度、その支援のひとつとしてコミュニティビジネスプランの公募を行い、滋賀県でのモデルとなるプランを選考し、事業立上げの支援（※2）を行ってまいりました。（なお、来年度も同様の支援事業を行う予定です。）

今回、今年度のモデル事業に選定された5団体の事例発表会を行います。なお、今後のコミュニティビジネスの起業や事業展開のご参考となる片岡勝氏の講演も行ないますので、コミュニティビジネスにご興味のある方は、是非ご参加ください。

- 日時／平成16年3月5日（金）13：00～17：00
- 会場／滋賀県庁商工労働会館7階 大ホール  
滋賀県大津市京町4-1-1  
（JR大津駅より徒歩5分）
- 参加費／無料（定員200名）
- 内容／講演『コミュニティビジネスのすすめ  
～儲けはあとからついてくる～』  
講師：市民バンク代表 片岡勝氏



●片岡 勝氏 プロフィール  
三菱信託銀行で組合委員長などを歴任。退職後、ビジネスを通じた社会問題の解決を行うため、(株)プレスオールターナティブを設立。また発展途上国の産業経済を支援する「第3世界ショップ」の開設や、市民事業をサポートするため、東京都内の信用組合との連携による「市民バンク」を設立。都内の信用組合との連携による「市民バンク」を設立。2000年に「チャレンジ若者ファンド」を設立し、島根大学や産業能率大学などの学生に知恵と勇気を教えることにも尽力している。著書は「儲けはあとからついてくる一片岡勝のコミュニティビジネス入門」「すべては捨てることから始まる」「資金ゼロでも独立・開業できる本」等多数。

#### ●モデル事業発表

##### ①重兵衛農園

自然環境を守り、地域の活性化を図るため、山ウドを中心とする山菜摘み取り、調理加工実習園

##### ②浜大津朝市運営委員会

朝市プロジェクト協働事業（消費者と生産者の顔が見える関係づくり）

##### ③てんしょく

コミュニティビジネス・てんしょく「ままや」プロジェクト～地域で結ぶ「食縁」

##### ④特定非営利活動法人 ブラームスホール協会

DECプロジェクト～「文化」「教育」の現場への人材派遣事業の設立に向けて～

##### ⑤株式会社 日本ビーコム

「IT学習の場」を商店街自立のための収益事業とするための支援ビジネス



浜大津朝市運営委員会の「大津朝市」

#### ●お申し込み・お問い合わせ先

財団法人 滋賀県産業支援プラザ 新事業支援課  
コミュニティビジネス推進担当/笹井・坂本

TEL：077-525-7573 FAX：077-525-1931

e-mail：shin@otu.shigaplaza.or.jp

※1「コミュニティ・ビジネス」とは、生きがいを感じる新しい働く場づくりや、安心して暮らせる地域づくりを目的として、地域に役立つ事業に取り組み、サービス（労働）の対価を得て、事業継続が可能である事業をいいます。例としては、独居老人の為に弁当配布/廃品、不用品のリサイクル/託児、子育て相談/商店街の空き店舗活用…等々

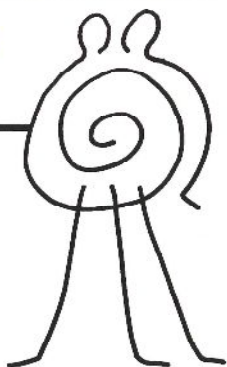
※2「支援内容」県内に活動拠点を置き、県内を活動地域として、コミュニティ・ビジネスを実施しようとする法人（株式会社、有限会社、組合、NPO法人）、任意団体および個人を支援対象として、その事業化立ち上げのために、資金支援（立ち上げ経費の1/2以内、上限100万円）の他、コンサルタント（専門家派遣）や人材支援を行っています。

# うちでのごま 連載 企画

## 滋賀県元気企業紹介

創業や研究開発・事業化を通じて、新製品・新サービス等を生み出そうとする「創造的企業活動」に取り組む創造法認定企業3社を紹介します。

●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。  
URL/<http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.htm>



新世代株式会社  
代表取締役社長  
中川克也さん



「人とデジタル技術の融合」をテーマに、様々なエンターテインメント商品をつくる。

- 本社/草津市夏矢倉3-3-4
- TEL/077-565-6050
- 業務内容/各種エンターテインメント商品の企画・開発・製造、半導体の設計・開発・製造・販売、コンピュータ応用製品の企画、設計、開発及び販売電子機器、装置の製造販売
- URL/<http://www.shinseidai.co.jp/>

1995年設立。エンターテインメント商品の企画・開発・設計・製造、家庭用情報処理装置とそのソフトウェアの開発などを手がける。家庭ゲーム機のソフトが複雑化していく中、「誰でも手軽に楽しめるシンプルな遊び道具を」と、マルチプロセッサLSI(高密度集積回路)「XaviX」(ザビックス)を開発。これを活用した「家庭用体感型ゲーム」を玩具メーカーと共同開発してヒットした。テレビにつなぐだけで、野球、ピンポン、ボーリングなどのスポーツから、カラオケやバイオリン演奏まで誰でも簡単に遊べる。現在、約100種類の製品を企画製造。今後は、玩具にとどまらず、教育、健康、医療等の分野で活用できる商品の開発を目指している。



弦の動きをセンサーでとらえ、バイオリンの演奏が体感できる「エヴィオ」

株式会社I・S・T  
取締役  
阪根信一さん



未だかつてなかったモノを生み出す「考える技能集団」。

- 本社/研究所/大津市一里山5丁目13番13号
- TEL/077-543-2211
- 業務内容/機能性複合繊維、不燃内装用クロス素材、OA機器・精密機器用特殊パーツ、ポリイミド樹脂、計量機器、バイオテクノロジーと医療用特殊素材の研究、開発、製造
- URL/<http://www.istcorp.jp>

1983年、ベンチャー企業として「世の中に未だなかったものだけを創り出す」ことを目標に複合材料の開発に着手。1985年、東京で起きた地下ケーブル火災の再発防止として「全く燃えない」繊維材料が脚光を浴びる。また同年、世界最大の化学メーカー、米国デュポン社と耐熱複合繊維の共同開発を開始。その後もOA機器や航空機分野などで新商品を次々と生み出してきた。1998年には医療・バイオ分野にも進出し新たな事業の柱を確立。また2001年にはイストフロン(R)不燃クロスが国土交通省・建築用不燃性材料の認定を受け、映画館やスタジオで採用。近年では一般家庭向けに不燃カーテンの通信販売も開始し「機能性材料」をキーワードに新分野への挑戦を続けている。



主力商品の「高機能フッ素樹脂複合材料」

株式会社共和  
代表取締役社長  
斎藤孝志さん



“ものづくり”に魅せられた男たち 21世紀型企業への経費削減&IT提案事業。

- 本社/甲賀郡甲西町菩提寺1492-444
- TEL/077-551-3170
- 業務内容/電気工事の設計・施工 情報通信システムの設計・施工 自動制御機器及び電気制御装置の製造・販売 スクリューフィードによる粉体連続計量装置を核とした押出成形工場等のITソリューション事業

平成9年創業。斎藤社長は大手企業のエンジニアとして設計・管理のノウハウを学ぶ。独立当初、特殊な電気計装工事をウリに経営を軌道に乗せた。2年後、風力発電で特許技術を取得するほか、プラスチックのリサイクルプラントで、大手に1億といわれる仕事を合理化し6千万で納入。長年培った専門家集団ネットワークの技術開発力で手腕を発揮した。今回、「めきぎ・しが」でAランク評価事業に選ばれた「スクリーフィードによる粉体連続計量装置」は約3%の原材料の削減に成功し、特許出願中。21世紀型企業としてISO9001の認証取得やITソリューション事業に取り組む。現在、国内外より受注が相次ぎ、他のバイオ・食品業界等からも熱い眼差しが注がれている。



高精度の原料充填を可能にした「スクリーフィード」

# オンラインを めざせ!

レポート



メガネショップ  
十屋

こだわりの眼鏡店をめざして  
十屋のオーナーは二人。谷口充さんと森良仁さん。森さんが勤務していた眼鏡店に谷口さんが入社したのが出会いでした。「お互いに求人広告を見て入社。商売に向いてるタイプ」



谷口さんのメガネはテオ(ベルギー)。遊び心たっぷりのデザインが揃う。

## オンラインワン

### 二人のこだわり「十屋オリジナル」

輸入品の眼鏡は鼻の低い日本人には合わないので調整が必要です。そこから、もっと日本人向きで、しかも遊び心のあるメガネを作ってみようということになったとか。デザインを自分たちで考えて発注。1996年から試行錯誤しながらでき上がったのは、二人でデザインしたものや、谷口作、森作など12モデル。「サイズのオーダーメイドではなくて、自己満足で作った少数生産のオリジナルですね。売れるとうれしいですが、自分の好きなモノを作ってる感じ(笑)。自分たちがデザインしたモノを気に入って使って頂ける、それだけで大満足なんですよ」。



谷口さん、森さんの二人が企画、デザインしたメガネが並ぶ。

④「じゃなかったし、すぐに辞めるつもりだったんですよ」と谷口さん。でも3年もすると仕事が面白くなり、そのうち、量販店特有の売り方や度数の合わせ方、眼鏡の加工の仕方などに不満を感じるようになったとか。「自分たちの店を持つしかない」と8年前、二人で南草津に眼鏡店をオープンしました。「二人でするのは

どうかって心配されましたけど、二人だからこそできたかも」。それぞれの個性を生かしながら、確実に顧客を増やしてきました。一昨年、現在の場所への移転を機に店名を変更。「十屋」という名前は「陶冶」(とうや)から。「そのむかし鍛冶屋さんとかの職人さんが腕を練り鍛えて育成し、才能や人格をつくり上げて行く事を

意味します。言葉の響きが良いのと、僕たちの眼鏡作りにも合い通じるものを感じて」と谷口さん。眼鏡店を開くなら、他店にはない店にしよう。二人がこだわったのは、店名だけでなく、外観や店内の色、香り、灯り、BGMなど、居心地のいい空間を作ることで、そして、「見える」だけでなく、お客さまが素直に「いいなあ」

と感じ、明るく積極的な気持ちになれるような眼鏡を販売することです。

## マイナスイメージをプラスにして楽しむメガネライフ

お客さんに合った、お気に入りの眼鏡を気持ち良く選んでもらえるよう、お店の雰囲気作りとともに品揃えにも力を入れています。芸能人仕様といわれるブランドや、スポーツ選手ご用達のサングラス、個性的なデザインのものから、二人が自らデザインした十屋モデルまで、国内外のブランドも、量販店にはない商品を取り扱っています。当然のことながら眼鏡に関する知識も豊富で、疑問や質問には気軽に、しかも的確に応えられるのも、二人が細部にわたって商品を熟知しているから。十屋のホームページと谷口さん個人のホーム

ページは必見。眼鏡のことならなんでもわかる親切なつくりで、十屋がより身近になります。お客さんは若い世代が中心ですが、口コミで熟年層も増えてきました。「眼鏡を掛ける人は、目が悪いということで多少のコンプレックスを感じてるかもわかりません。でもそれを逆手にとって、おしゃれをするアイテムが増え

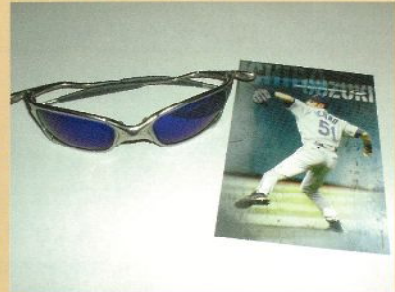


柔らかい照明と、シックなテーブルに並ぶメガネ。アジアをイメージしたというディスプレイが個性的。

たと考えれば楽しくなりますよ」。十屋で買った眼鏡で人生を楽しく過ごしてもらいたい。眼鏡を愛用する、二人の熱い思いです。



メガネのデザイン性を高めた第1号者、alan mikli (フランス) の作品。



芸能人ご用達商品から、イチローモデル (OAKLEY) のサングラスまで揃う。

## うちのこだわり

### 眼鏡を引き立てるアジアンテイスト

のれん、朱塗りの引き戸……一見、和食屋さんのような十屋。実際、間違えて入ってくる人も多いとか。店内はやわらかな照明と和の小物がちりばめられ、眼鏡店とは思えない雰囲気。入り口に掛かる「書」、店内にあるお品書きのような「書」・・・ウンチクのある言葉が書かれたこれらの「書」は、森良仁さんが書いたもの。独特の筆致と墨の味わいが、アジアを意識した店の雰囲気作りには欠かせないものになっています。お客さんに気持ちよく商品を選んでもらいたい。森さんの思いが表れています。



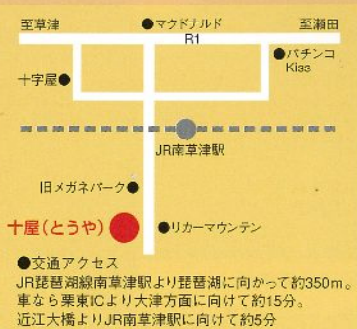
和紙に森良仁さんが書いた書が、店内のあちこちに。うんちくあることばについて見入ってしまう。



#### 十屋(とうや)

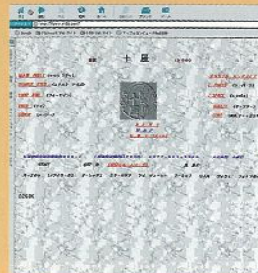
- 草津市野路町659-1
- TEL.077-563-3989
- 11時～20時
- 毎週水曜日定休
- <http://www.e108.com/> (十屋)
- <http://e108.hp.infoseek.co.jp/> (谷口)

"とうや"は「陶治」。読みにくいと、陶器屋さん間違われるかとも思い当て字で「十屋」に。



#### 十屋(とうや)

- 交通アクセス
- JR琵琶湖線南草津駅より琵琶湖に向かって約350m。車なら粟東ICより大津方面に向けて約15分。
- 近江大橋よりJR南草津駅に向けて約5分



●十屋のホームページ。



●メガネについての詳しい解説がある、十屋からリンクされた谷口さんのホームページ。

# トピックス TOPICS



## 資本金1円でも会社が設立出来ます 最低資本金規制特例 [新事業創出促進法] について

身の回りのアイデアや日常のちょっとしたことを取っ掛かりに、事業を始める人が増えています。しかしこれまでは、サラリーマンや主婦、学生など、資金力に乏しい者が会社を設立して起業する場合、最低資本金(株式会社は、1,000万円以上、有限会社は300万円以上)が起業に当たりの高いハードルとなっていました。そこで、資金力がなくても無形財産やアイデアなどのソフトな経営資源によって創業することが出来るよう、新事業創出促進法の一部を改正した「中小企業挑戦支援法」により、最低資本金規制の特例が設けられています。1月9日現在、この制度を利用して滋賀県では、株式会社14社、有限会社21社が設立されています。

## 最低資本金規制の特例とは

最低資本金規制特例により、事業を営んでいない個人が新たに会社を設立し、事業を開始しようとする場合、経済産業大臣の確認を受けた者については、商法・有限会社法の最低資本金規制が適用されなくなり、設立の日から5年間は最低資本金未満の資本金で株式会社および有限会社の設立が認められることになりました。極端なケースでは、資本金わずか1円でも、株式会社や有限会社の設立が可能です。

ただし、債権者保護の観点から、最低資本金規制の特例を認められた会社(確認株式会社・確認有限会社という)では、純資産額が最低資本金額を超過するまで配当が出来ないほか、管轄する経済産業局に対して貸借対照表、損益計算書などの提出義務が課せられます。また、設立から5年間の特例であるため、5年を経過する日までに、資本金を最低資本金まで増加することが必要で、それが出来なかった場合は、合名会社・合資会社に組織変更するか、解散するかを選択しなければなりません。

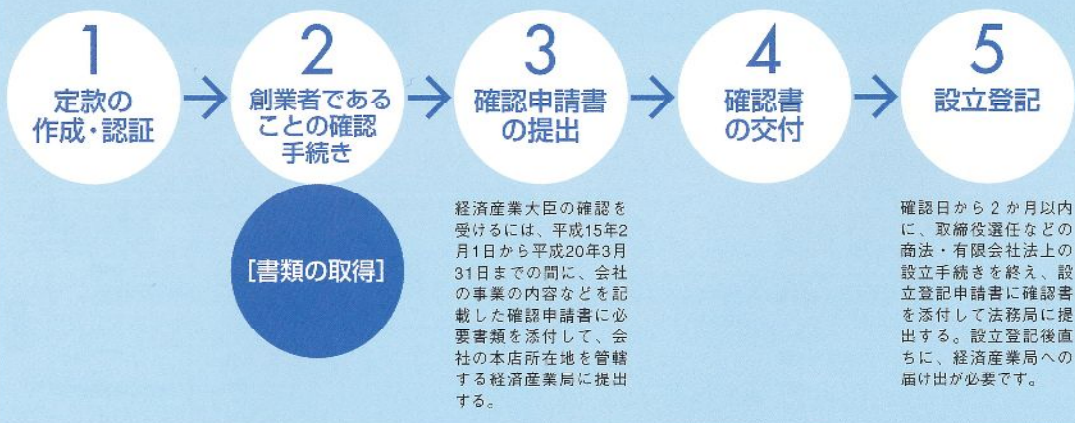
また、確認株式会社および確認有限会社が、資本を最低資本金以上に増資したり、合名会社・合資会社に組織変更、あるいは合併、破産その他の事由により解散することにより、最低資本金規制の特例が終了する場合には、特例終了の届出書を経済産業局に提出する必要があります。

なお、最低資本金特例に関する申請・届け出の用紙は、経済産業省のホームページ

<http://www.meti.go.jp/policy/minicap/index.html>  
からダウンロードして使用出来ます。

●お問い合わせ・お申し込み先  
近畿経済産業局 創業・経営支援課  
大阪市中央区大手前1-5-44  
TEL：06-6966-6014  
<http://www.kansai.meti.go.jp/>

## 手続きの概要





skki 企業  
優良製品紹介

skkiに加盟している企業の優れた商品をご紹介します。

●各企業の詳細な情報はskkiに掲載されています。企業名で検索してご覧ください。

究極 [Ultimate] の  
栓 [Cup]、UC栓

当社の「UC栓」は、樹脂のみでできているリサイクル可能な画期的な中栓です。（従来の栓は金属と樹脂と箔の複合品で再利用できません。）リングが付いているため開け易く、金属の錆び・腐食も皆無です。プラマーク表示も付いて、環境と人に優しい栓です。現在、環境対策に前向きな全国の酒造会社で大好評を博しています。



株式会社 長浜コルク工業所  
TEL.0749-62-3568  
e-mail: nctcuc@blwacity.com

喜んでいただける  
オリジナルの記念品

近年、オーダー記念品分野を展開しました。芸能人ファンクラブ用のブローチ、校章をアレンジした同窓会用の銀のピンブローチ、ゴルフのコンペ用に銀のマーカーなど、金・銀・ステンレス・天然石で作ったオリジナルな記念品をつくっております。従来の記念品によくあるように、タンスにしまって置かれるというようなことはなく、「愛用している。とてもオシャレ」と喜んでいただいております。



株式会社 銀工房  
TEL.077-592-2480  
e-mail: sugihara@glnkobo.com

「養土育」ブランドのねぎ

自分の家族が安心して食べるモノしか作らないし、売ることもありません。それが私たちの思いです。そうした農作物をみなさまの食卓にお届けすることを大切に心がけています。そのため当社では安心安全な土作りを大切に、その土で丹精に農作物を育てあげ、そのもの本来の味を引き出しています。本物のおいしさと鮮度を重視した特別栽培農産物の「ねぎ」をご賞味ください。



有限会社 アグリケーション  
TEL.077-567-1717  
e-mail: info@agricatin.com

冬こそあったか「たにむら特製ちゃんこ鍋」

長時間かけてじっくり煮込んだ鶏がらスープをベースに醤油味であっさり仕上げたオリジナルのだし汁、特製のミンチはお子様からお年寄りまで幅広く喜んでいただいております。たにむら特製ちゃんこ鍋は2200円で、付き出し・うどん付。沖ちゃんこ鍋になると海の幸を盛り込んだボリューム満点で3500円。その他ご希望によりご予算に合わせてご用意できます!!



めん処 たにむら  
TEL.077-565-8532  
e-mail: mendokorotanimura@aiores.ocn.ne.jp

湖西は安曇川に、ウィンドウ越しに高島時雨を眺めながらゆっくりくつろげる店がある。西近江にちなんだ和菓子など30種類以上の洋菓子が置かれ、店内に広々ととられた喫茶コーナーでは、無料のコーヒーやお茶がよい香りを放ち、訪れる客をもてなす準備万端といった雰囲気だ。ここは「西近江湖風菓 とも栄」かつ「西洋菓子工房 ベルブラン・トモエ」。西沢さんはその専務である。



SMILE



お菓子を通じて地域に根付き、  
良いお付き合いを

西沢 恵利さん

西近江湖風菓 とも栄  
西洋菓子工房ベルブラン・トモエ  
●〒520-1212 高島郡安曇川町西万木211-1  
●TEL.0740-32-0842 FAX.0740-32-0842  
●e-mail: okasi@mx.biwa.ne.jp

西沢さんを知る人は皆、口をそろえて「若いのに優秀でやり手で、綺麗な人だ」というが、お会いした西沢さんは控え目な感じの人だった。清楚な、優しい、それでいて凛としたものをもつ魅力的な美人だ。

恋愛の末、大学を中退して嫁いだ先は和菓子店。見よう見真似で家業を手伝ううちに芽生えた様々な問題意識が、経営セミナーの受講を機に“経営”への目覚めへと彼女を促した。

それから10数年、和菓子店を「家業」から「企業」へと見事に開花させた。喫茶コーナーをもつ華やかな店舗は、企業へと転換するためのひとつのステージ(舞台)なのだと語る。

日々の生活の中で人と人との架け橋になり、人生の節目につかわれる「お菓子」、これを通じて、地域に根付き、地域の人と関わり、良いお付き合いをさせていただきたいという西沢さんの思いが、店内には溢れている。

# セミナー イベント情報

## 第2回 一日支援プラザを開催します。

日頃、距離的に遠く、当産業支援プラザの支援を利用しにくいと思われる地域の皆様を対象として、当産業支援プラザのスタッフによる相談・支援業務等を近江八幡市で行ないます。

当日会場では、新規出店や販売戦略、既存店の競争環境の把握に役立つ「商圈マップ(商圈分析システム)」のデモンストレーションや創業や経営革新についての相談も行いますので、お気軽にお越し下さい。

●日時/平成16年3月4日(木) 10:00~18:00

●場所/ホテルニューオウミ [近江八幡市]

●開催内容/

- ①個別相談コーナー(創業・経営革新、貿易、販路開拓、資金等)
- ②セミナー(経営革新セミナー、国際化セミナー)
- ③広域商談会
- ④三方よしポスターセッション
- ⑤PRコーナー(商圈マップデモ、SKKIデモ)

●参加費/無料

●問合せ・申込先/(財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援課  
担当:谷口 TEL:077-525-7573

E-mail: keiei@otu.shigaplaza.or.jp



## 「産学官連携・事例研究セミナー」について

研究開発を行っている企業の内、7割以上の企業が何らかの研究開発に関する外部連携を実施しています。企業の活性化の手段として産学官連携が注目を浴びる中、産学官連携の重要性、中小企業者が産学官連携に取り組みきっかけを持つ為に何が必要か、といった内容で講演を行います。

●日時/平成16年3月11日(木) 13:30~16:30

●場所/滋賀県工業技術総合センター大会議室

[粟東市上砥山232]

●講師/龍谷大学工学博士 REC フェロー 小林 啓祐氏

岡山県産業振興財団 産学官連携コーディネーター  
稲村 實氏

●定員/40名

●参加費/無料

●問合せ・申込先/(財)滋賀県産業支援プラザ  
技術支援課 担当:鹿間

TEL:077-525-6366 FAX:077-525-1931

E-mail: shikama@otu.shigaplaza.or.jp

## 新エネルギーフォーラム

今まで太陽光発電分科会として進めてきましたが、今回より太陽光発電、燃料電池等新エネルギーとして取り組みます。今回は以下のテーマについてお話しします。①太陽光発電システムからの発電電力評価結果 ②CISの現状と代替素材に関する研究 ③球状シリコン太陽電池の開発 ④水素吸蔵合金を用いるニッケル-水素電池 ⑤ソフト溶液プロセスによる酸化半導体太陽電池 ⑥色素増感太陽電池および燃料電池の現状と課題

なお、講演後コーヒーを飲みながら先生を囲んだ懇親の場を設けております。是非ご参加下さい。

●日時/平成16年3月5日(金) 13:00~17:00

●場所/ライズヴィル都賀山(JR守山駅前)

●講師/立命館大学 工学部 高倉 秀行教授  
立命館大学 工学部応用化学科 松岡 政夫教授

●定員/40名

●講演会参加費/無料

●問合せ・申込先/(財)滋賀県産業支援プラザ 技術支援課  
担当:鹿間、橋本

TEL:077-525-6366 FAX:077-525-1931

E-mail: shikama@otu.shigaplaza.or.jp

## 新着●ビデオ&本●紹介

プラザ・インフォメーションコーナーでは、経営・販売促進・ISOなどの各種の図書およびビデオソフトを多数取り揃えています。最近購入しました図書およびビデオソフトの一部をご紹介しますので、是非ともご利用下さい。

## VIDEO



### これだけは守りたい! パソコンマナー入門

日経VIDEO

③ITを管理職の“武器”にする  
約25分

ITの知識は若手部下にまかせておけばいい? これからの情報化時代、それではすまされません! 職場の業務効率を上げるのが使命の管理職だからこそ、ITの役割を理解して有効活用していかなくては…。そんな管理職の方に、ITを“武器”にするための常識とマナーを分かりやすく解説。「コンピュータが苦手」という管理職の方、必見のビデオです。



### 社員のモチベーション (やる気)の高め方

日経VIDEO

①社員のやる気を引き出す基本  
②[演習]モチベーションの高め方  
各巻約23分

社員のモチベーションが、企業全体の空気を変えるカギ。やる気のないベテラン社員を、再戦力化していくにはどうすればいいの? 部下同士の確執によるモチベーション低下に打開策はあるのか? そんな疑問を抱いている管理職の方のためのモチベーション・マネジメントの基礎、具体例やエピソードを交えて紹介します!

## BOOK

### デジタル商品撮影 実践の書

早川廣行/他監修

デジタル撮影は、いまや一歩進んだテクニックを求められる時代! そんな時代にふさわしいデジカメ撮影の実践テクニックを、プロたちのスタジオから分かりやすくレポート。被写体をより鮮やかにイキイキと撮影するにはどうすればよいのか? レベルの高いコマースナル・フォトを生み出していく匠たちの裏ワザ、ぜひご覧ください!



### 3分以内に話はまとめなさい できる人と思われるために

高井伸夫/著

話を聞く人は、話す人よりも3倍以上のエネルギーを使っていることを知っていますか? 「話は最初の3分で、勝負が決まる!」と言われます。短時間で「実のある話」をして、相手の心を引きつけるコツとは? 自分の言いたいことを伝え、相手に納得・感動してもらう話術のテクニックを、色々なエピソードを織り交ぜつつユーモラスに解説。



### 決定版 資本金1円からの有限会社 株式会社の作り方

古橋清二/編

実力はあるけど資金が足りない! そんなあなたも、今ならわずか1円の資本金から会社が作れます。実力さえあれば、有限会社・株式会社を作ることを可能とした「最低資本金規制の特例」。その実用のノウハウを、会社の設立・運営から増資・組織の変更まで、すべて解説します。夢を抱えた経営者希望の方、平成20年3月までの期間限定ビッグチャンスの到来です!



### 第5回

今、新技術開発や  
ヒューマンネットワークの形成など  
産学連携が目まぐるしく  
このコーナーでは大学などの  
産学連携に関する情報を  
掲載します。



なりやまさやす  
成山雅康さん

龍谷大学エクステンションセンター(REC)部長

産学連携の言葉もない時代から、コツコツと地元・滋賀の中小企業やベンチャー企業の皆様からの技術指導の要請やマッチング希望に応え続けて、RECも早14年目を迎えました。その間に、ものづくりシーズの源となる理工学部も6学科(物質化学科、機械システム

工学科、電子情報学科、数理情報学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科)と充実してまいりました。これからはより一層、地域のため、市民の皆様のために尽くしてまいりますので、些細なことでも構いませんので、どうぞRECにお気軽にご相談ください。

【問】龍谷大学エクステンションセンター  
〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5 TEL.077-543-7743 FAX.077-543-7771  
E-mail: rec@moc.fks.ryukoku.ac.jp URL: http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/



- 喜多品老舗
- 乾工作所

### 喜多品老舗

http://www.kitashina.com/



私ども喜多品老舗は、創業以来380余年にわたり近江高島で『紅葉鮎鮓』の伝統の味を守り続けております。鮎鮓をみなさまに知っていただきたいだけでなく、琵琶湖に対する思いをお伝えしたくホームページを開設しております。その昔、食国(おすくに)・御食国(みけつくに)・美(うま)し国といわれた滋賀の伝統食品に対する当主の思いを綴ることや、リピーターのみなさまに「これを見ながら一杯飲める……」とまでご愛顧いただいている包装紙のデザインをページの背景に使うことで、喜多品老舗の雰囲気が伝わるホームページに仕上げました。

### 乾工作所

http://www.inui-mfg.com/



弊社はNC旋盤加工、CNC旋盤加工のなんでも屋です。お客様のニーズにお応えするよう、特殊ネジ・挽物加工単品や少ない本数でも受注致します。切削加工のことならお任せください。このような弊社の技術を多くの方に知っていただくとうホームページを立ち上げております。トップページではNC旋盤による加工品の写真とともに製品の紹介をしております。とりわけ製品の写真はホームページの大切な顔となります。かねてから、よりわかり易いホームページにしようと模索してまいりましたが、先日、「Eビジネスセミナー」に参加する機会を得て、早速ホームページをリニューアル致しました。セミナーでホームページでの製品写真は重要なポイントになることを再認識しましたので、今回は特に製品ひとつひとつがよくわかって頂けるようように撮影を工夫致しました。これからも「乾工作所」をご愛顧いただけるようなホームページ作りを目指していきます。

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場skki(すっき)をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、プラザではホームページ立上げ支援などインターネットビジネスを応援する巡回企業訪問や、Eビジネスセミナーの開催を随時行っておりますので、お気軽にお申し込みください。



### ● 編集後記 ●

昨年末、7年ぶりに「滋賀県企業要覧2003」を発行しました。ベンチャー企業をはじめとする滋賀県内に事業所がある意欲的で元気のある企業約3,000社を掲載しています。過去に、この「うちのこづち」に掲載した企業のデータが掲載されていますので、産学官連携、技術移転および販路開拓などに、是非、ご利用下さい。

企業のやる気を応援します！

## 財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0044 滋賀県大津市京町4-1-1(滋賀県庁商工労働会館内)  
TEL.077-525-7573 FAX.077-525-1931  
http://www.shigaplaza.or.jp info@otu.shigaplaza.or.jp

- 公共機関/JR大津駅から徒歩5分
- 車/名神インターから約3分
- 駐車場/県庁南駐車場[無料]をご利用ください。

